

経済ポケット ジャーナル



★神栄石野証券

合併披露パーティ開かる
石野証券、神栄証券、東京神栄証券の三社合併によって四月一日に発足した神栄石野証券の合併披露パーティが、四月一日、オリエンタルホテルで開かれた。



盛会だった合併披露パーティ

会場は神戸の財界人や業界関係者ら約五百人が集まった大盛会。あいさつも一切なしというユニークなパーティで、多くの人たちの新会社発足の祝福に対して感激の石野成明社長は、「一層の発展を期し地元を

はじめ各界の期待に応えるよう頑張りたい」と決意も新たに話している。

★神戸経済同友会が 七項目の提言

オイルショック以来、混乱を続ける日本経済。神戸経済も同様で、神戸の産業構造の改革について、将来への確固たるビジョンが要求されよう、として神戸経済同友会では、去る四月六日「あすの国際海上文化都市をめざして」をテーマに七項目の提言を発表した。

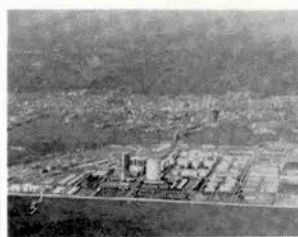
この提言は、神戸を中心としてヒト、モノ、カネ、情報を集めて、国の内外に交流かつ拡大できるよう、関西新国際空港を結ぶシティターミナルを軸として、神戸の経済・社会に一大文化開発事業を推進しようということを基本にして、
①ポートアイランドに海上都市のシンボルとして、従来の行政機関としての市庁

舎に文化施設を併設したユニークな発想に基づく新しいタイプのシティーホルルの建設

- ② 港湾都市機能に空港都市機能を付加して、トランスポート・システムの潜在するエネルギーをパワーアップ
- ③ ポートピアの成功
- ④ メッセ（見本市）の振興
- ⑤ 海洋研究センター、フアッション大学、国際芸術村などの開設
- ⑥ 国際交流をさらに推進するまちづくり
- ⑦ 以上の提言を推進するために国際海上都市委員会の設置、の七項目。

★ポートピア'81

会期は一八〇日間に決定
昭和五十六年春に開催される神戸ポートアイランド博覧会（ポートピア'81）は当初三ヶ月間の予定ですが、められていたが、三月二十一日から九月十五日までの一八〇日間開催することに



この島に450万人が

決定した。

全国から見物客を呼ぶためには夏休み期間にも開催したいこと、夏には夜間営業もしたいこと、出展者の投資効果が三カ月では十分得られないこと、ポートアイランドそのもののPR効果などが期間延長の要因だが、これによって約二十万人増の四百五十万人の入場者数を見込み、同時に企業の出展意欲も高まり、出展申し込みのほうも順調。

★塩屋土地建本社移転

塩屋土地株式会社八井植貞雄代表取締役が、去る四月二十三日垂水区青山台一丁目二十八番一四号に本社事務所を移転。 ☎078-1751112

★三井銀行三宮支店長に小林氏

三井銀行三宮支店では、酒井藤吉支店長の関東機展出向に伴い新しく小林博司氏が就任。

★麒麟麦酒神戸支店長に桑原氏

麒麟麦酒神戸支店では、長山和夫支店長の近畿コカ・コーラボトリング出向に伴い、新しく桑原通徳氏が就任。

★神戸経済同友会 新代表幹事に石野成明氏

神戸経済同友会では、鬼塚喜八郎氏（㈱アシックス社長）の任期満了に伴い、後任に石野成明氏（神栄石野証券社長）が就任。大西胖氏（川崎重工工業常務）は留任。

★玉井商船社長に玉井新吉氏

昨年十二月二十三日に逝去された玉井商船社長・玉井操氏の後任に長男の玉井新吉氏が就任。

★神戸国際会館社長には加藤氏

玉井操社長死去に伴ない空席だった神戸国際会館社長に加藤利一氏が就任。

〈特集〉

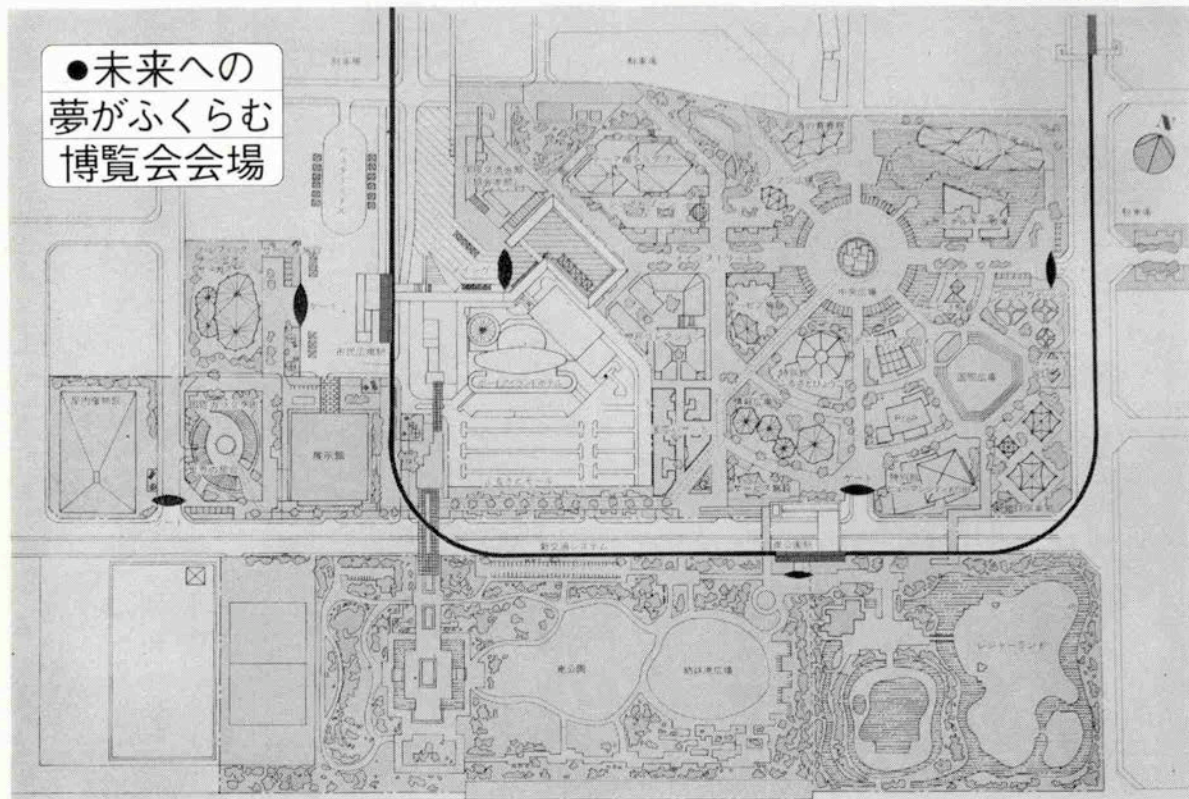
ポートピア'81へのアプローチ



元永 定正 / 嶋田 勝次 / 松谷 富士男 / 井植 貞雄
浜野 安宏 / 植田 紳爾 / 岡田 美代 / 小林 陸一郎 / 安藤 忠雄

PORTOPIA'81

●未来への
夢がふくらむ
博覧会会場



みんなの広場を



元永 定正

〈画家〉

仕事の関係上どうしても視覚的なものに考えがゆくのだが、そんなものを具体的に書いてみると、まず手製のたこあげコンクールというのはどうだろう。既成のものはすべて参加出来ない。斬新なアイデアでつくられたものばかり集めます。不思議な人たち、面白い人たち、強烈な色彩、変った飛びかたをするものやすごく大きいものやミクロのミニだこなど何もさえないものもない広い海原に向って六甲山を背景に空中展覧会ともいえる壮大な催しを想像している。空もよいのだが海上都市にふさわしい海上展覧会は是非開きたい。私は具体グループの頃からそれを考えていたのだが、とうとう実現しなかった。波にうまく乗ってただよう作品や、波にさからって存在を主張しているものなどよいだろう。沖へ流れ出ないように重りをつけることやロープでつなぎとめる工夫も必要だろうが、潮流に流されて太平洋をどこまでもといったアイデアも出るだろう。公募形式か招待作家だけにするのかという問題も起ってくる。

この海上や空中たこあげの他に誰れでも何でも自由に出品出来る神戸アンデパンダン展も企画すべきでしょう。アマにもプロにもそれぞれ立場があるのだけれど、どんな変なものでも、どんなつまらないものでも出品可能という自由さは大切だ。野心があってもなかっても、気どりがあってもなかっても、お金があってもなかっても、これこそ参加することに意義がある。収容人員二〇〇人ぐらいの小劇場で新しい意味を持ったバーホーマンスを行います。これは公募がよいでしょう。形式はどんなものでもよいのだが、原則として一〇分から三〇分ぐらいの短かいものがよいと思います。観客と出演者や作品が一体となるものもあるだろうし、愉快なハプニングも生れてくれれば成功です。この小劇場はポートピア'81が終ってもそのまま残して新しい発表の場のメッカになれば大変よろしい。

みんなが自由に集まれる皆んなの広場がほしい。その広場は大きな催しが出来るのだけれど、夜店、昼店、バナナのたたき売り、ガマの油売り、のぞきからくりなどの昔なつかし店なども時々出てくるのもよいだろう。私たちは日常生活とは違った経験をして見たいといった潜在意識が意外と強いように思うのだけれど、そこで仮装の日というのを設けてみたら面白いのではないのでしょうか。たとえば毎日曜日などにして、今日は乞食になって会場でローアングルから世の中を見てやろうと考えてみたり、粋な船乗りさんになって女の子と遊んで見るとか楽しい時間が持てるというものだ。これは自分を偽るというのではなく、あくまでも仮装である。むしろ仮装の中でこそ自分でも気がつかなかった別の自分の真実がわかって来るということもあるだろう。みんなの広場に集って自分の中にたまっている問題をいろんな人に話して見たいといった欲望を満足させるために議論の日をつくりまします。政治問題やら、思想、哲学、宗教、猫ずきか犬ずきかの話までおもしろい議論する。ただし昂奮のあまりの暴力ざたは絶対さけるべきで、マナーの悪い人たちは監視員によって退場させられます。



嶋田 勝次

〈神戸大学工学部助教授〉

現実の課題に重ねよう

神戸で博覧会が開かれるというニュースを聞いたとたん、私が大学に入学した昭和二十五年春に開催された神戸博を思い出した。そして当時の資料を探していたら、ピラなどが出て来た。前売券百円也(当時市電二円、葉書二円)、三月十五日から六月十五日まで、王子公園と湊川公園の両会場、兵庫県と神戸市の主催であった。ちょうど同じ時期に朝日新聞社主催で、阪急西宮球場周辺でアメリカ博が開かれ、ちよつとした博覧会ブームであった。神戸大学建築学科の入学ガイダンスで、当時の野地修左教授(現名誉教授)が「建築科に入ったのだから、神戸博の建築を見ておくように」といわれたことを思い出す。とにかくそこで腹を減らしながらひととおり見学して、変った建物を資材のない中でいろいろ工夫していたことがかすかに記憶の隅に残っている。関西の建築界の方々と共に丹下健三や河合正一という東京勢がその中に並んでいて、仮設物ながらそれぞれ新しいデザインを模索していたようであった。

今日我々は日本万国博や沖縄海洋博を経験し、博覧会ずれしている。未来の生活、未来の技術、未来のデザイン等について、いろいろな展示を通して、多様な知識を得ている。この時期に「ポートピア'81」を開こうというのだから、大変なとまどいやむづかしさを感じてしまう。何かこの博覧会に対する提言とか提案をということなので困惑この上ない。そこで抽象的ながら若干の意見を提出することで、この責をふせぎたい。まずその内容が、①見本市的でないこと、②マンガチックでないこと、③にせものでないことである。すなわち①何度来ても楽しいこと、②主体的行動があること、③仮設的でないほんものであることを期待したい。

現在の我々の大きな関心は、住宅問題であり、教育問題であり、高齢化社会の問題である。この博覧会のメインテーマに、この今日的問題をどう組み込むかが大切ではないか。そのため未来の住宅への指向を通じて文化都市をつくることがあげられる。それには豊かな空間をもつ住宅の提示であり、実際の家族がそこに何日か何ヶ月か住むことである。更に高齢化社会を具体的に地獄絵と極楽絵にして考える素材を打ち出すべきではないか。また教育は受験を通じて一元化されるのではなく、海を通じての国際的方向やら、西欧文化と対比されるアジア文化の中に、コンピュータを通じてのシステム化の方向でない手づくりの教育文化も示されてよからう。そこには年寄りの経験や生活の智慧を目に見えるものとして実感させてほしい。そんな抽象的なことをどう展示するのか、どうアピールするのかと問い直されそうだが「創造」の苦しみは、ハレの場であるだけに、一層しんどい。しかしその裏のケをどう組み立てるのかを考えることから出発すれば、何かちがったアプローチが生まれなかつと思う。そんなことは別に、ポートアイランドにずっと残って、シンボルとして親しまれるものをこの際定着させてほしい。絵として、計画案として、ものとして提示出来ないもどかしさが、この文から汲みとってもらえれば、この時点では幸いとしたい。

未来への展開を



松谷富士男

〈婦人服飾ベニヤ社長〉

ポートアイランドという巨大な人工島は画期的なものです。この完成を記念して二年後に開催されるポートピア'81では、ポートアイランドの存在価値をはっきりする必要がありますかと思っています。埋め立てることによって少しでも土地を作ったということもあるでしょう。狭い日本、土地が増えればそれだけでも意義があるといわれればそれまでですが、どうしてポートアイランドを作ったのか、そしてどのようにこの土地を生かしていくのか、そのあたりの価値観の問題をはっきりさせる必要があります。ただ土地を作ったからというだけでは、人は来ないと思います。人を寄せるためのことよりも、その意義だと思っています。それがない限り、うわべの人寄せをやっても永続性はないと思います。

そういう意味から、ポートピア'81では、打上げ花火や線香花火のようなものでなく永続性のある催しや展示などを考えなければならないと思います。

一般にはポートアイランドがいわゆる工業地域という感覚を持たれている傾向があります。だから、例えばカンヌの映画祭であるとか、国際的な文化の象徴のようなものを開催する必要があります。しかも、そういうインターナショナルな行事を、一年に一回、あるいは二年に一回というように、定期的に開催することです。それによって、ポートアイランドの名を世界的に高めることもでき、日本全国の人々も一度はポートアイランドに行ってみようということになるでしょう。このように博覧会の会期だけのことでなく、長期的に考えないと、あとが淋しくなります。

永続性といえば、神戸は世界の味覚が楽しめる街ですが、この博覧会場でも世界各国の料理が味わえると楽しいものになるでしょう。一つの建物全体を一つの国にします。建物自体をその国の建築様式を用い、そしてそこではその国の料理が食べられるようにするのがいいです。そんな建物を、国別にして、いっぱい建てるのです。そうすれば人が集まってくるでしょうし、博覧会終了後もそのまま残して営業していくという永続性もでてくるでしょう。

つまり基本的には博覧会だけのことでなく、ポートアイランドの長期的な存在という見地から考えなくてはなりません。

そのひとつとして、ポートアイランドが瀬戸内海のレジャーマットの基点になれば素晴らしいことだと思います。ポートアイランドが行きどまりの存在でなく、ここから発展していくという考え方をもちたいと思います。そのためには兵庫県や神戸市のレベルに限らず、他府県からの協力も必要です。そして他府県の人々にもその恩恵を受ける存在でなくてはなりません。つまりポートアイランドの存在価値、利用価値を高めていく行動をおすすめなくてはなりません。

将来へつながっていくような展開をしていく構想をもつことから、ポートピア'81の成功、ポートアイランドの存在価値が生まれてくると思います。

神戸を見直す機会に



井植 貞雄

〈神戸青年会議所理事長〉

博覧会が、未来の神戸を創造する海上都市ポートアイランドの完成を記念するセレモニーであるなら、それは陽気で明るく底抜に楽しいものでありたい。神戸まつりに象徴されるように神戸っ子は、楽しく陽気なものを好む。しかし、ただのお祭り騒ぎで終りたくない。砂塵舞う祭りのあとの何んともはかなく、空しいものはない。新しい港島の誕生を機して、神戸経済に活気を与え、市民のくらしがより豊かになり、人々の生きがいとロマンに満ちた願いが街全体にたどよう門出にふさわしいセレモニーでありたい。

しかし、博覧会が、神戸市を初めてする主催者の企画立案により準備され、それでは県民人々こそぞって参加して下さいでは、いかに魅力ある海の未来都市と呼びかけても、士気が上がらないのではないか。ポートピア'81は基本理念にもとづく技術面は専門家に委ねるところとなろうが、人間中心の博覧会であり、市民の声そのものを反映し、自分達の手で作る、自分達で盛り上げなくてはならないというムードづくりがこれから必要になってくる。

人々は、日々、自分達のくらしや企業を精一杯守ることに努力し、その余暇として限られた遊園地で弁当をひろげ、ひとときの安らぎをおぼえ、疲れた足どりで家路につく。近所で何が起ろうと、又、知ることもなく過ぎ去り、我がくらしを維持することに明け暮れる。人の交わり、人々の語らいはない。子供たちがこの世を見限り自殺する話題もこの辺で終らせたい。人と人のふれあいから明るい話題もとれどし、コミュニティが生れ、情報交換がなされ、人々の成長と共に、明るく豊かなまちづくりをめざすことができる。

ポートアイランド博覧会がこの時代の活性を促す材料となり、現実をみつめなおし、明日のくらしやまちづくりはどうあるべきかの問いかけがまちの隅々までいきわたり、市民全体の盛り上がりによってこそ、開催の意義があるように思われる。

また博覧会の跡地利用の問題もさることながら、殺伐とした、コンテナ埠頭に取囲まれた住宅の群や、利用度の少ないホテルや、国際会議場が立ち並び、閑散としたショッピング街が居ながら、ただの巨大な離島となってはならない。人々がここに住み、いこい、経済や文化の繁栄と、世界の知識人が集まり情報の拠点となることを望む。

神戸っ子は今まで、神戸の街並を、六甲の山頂から見おろし、親しんできた。海上に出来た人工島から、逆に六甲の山並を背にする神戸という都市を見直し、これからの人間社会を見つめる絶好の機会ともなろう。

新しいスタイルで



浜野 安宏

〈浜野商品研究所々長〉

もう「未来への夢」を描いて何になるのでしょうか。私たちは今、極めて真面目なオルタナティブを作りださなければならぬのです。

ポートピア'81のパンフレットを見た限りでは、万博よりも古くさいものだと思えます。あれから少なくとも日本は変わったし、反省もしたし、これからまさに「地方の時代」「私なりの言葉でいえば『ニュー・ローカルイズム』」なのだけれども……

私はかつて「スポーケン環境博」の日本館に関して委員の一人になったことがありますが、あの時でも我々日本人が示したのは「狭さの克復」というテーマであった。いま必要なのは夢ではない。

非常に真面目なオルタナティブ、あるいは代置案への真剣な努力である。

お祭りさわぎで、いつまで時代がかった博覧会の形式を追いかけようというのか、ファッション神戸よ！五〇年も以前に、バリでまき起された新しい博覧会の形式以上にどこが変わっているというのだ。こんなもので魅力を感じて、人々が全国から、世界からやってくると思っているのか。

世界ではさまざまな問題が浮き彫りにされている。絶対に目をつぶり、耳をふさいでいられない問題がある。ともすればこの地球そのものの問題になりかねないものもある。しかし、巨大な地球の一点である神戸は、地球という全体に対して何ができるのか。より神戸のオリジナルな存在の仕方をさぐりだしてみるべきである。

人々は一人一人、地球の上に住む生物として何をしなければならぬかと、楽しく、しっかりと提言してゆくべきです。

一着の衣服も 一枚の皿も 一脚のイスも

一束の野菜も 一匹の魚も……

その一つひとつをしっかりとみつめ、見直すところから、すばらしい明日が開かれるのです。

ポートピア'81は、神戸が人々の「健康」について何ができるかを提示するべきです。いちばん身近かな肉体を、みずみずしく、美しく保っている、ローカル、フィジカル、コンシャスを充足させるあらゆるトレーニングやスポーツ、ゲームなどが…… DO！ やれる博覧会。

いってみればファッションは、ニュー・ライフ・スタイルと同義語になりつつあります。新しいライフ・スタイルについて真面目に考え、楽しく体験させながら提案してゆくべきです。

夢がとってもいい。これからの夢は都市的なものではないのです。古い思考パターンにとらわれ、すでに夢といえなくなったものにまだ夢を見つづけようとしていては失敗します。

いまのうちに、新しい博覧会スタイルをもっと研究すべきです。

神戸らしいものを



植田 紳爾

〈宝塚歌劇団演出家〉

いつも思うことなのだが、神戸には神戸独特の文化が伝統的に息づいている。また、その独特の神戸文化を、大切に守り育ててゆこうとする風土もある。

これは神戸に長年住んでみなければ理解出来ないものであるかもしれないが、まったく、神戸の文化は、他の都市と違った独特のものである。

これは、港町として、古くから外国の文化を最も早く自分のものにした、神戸の街の成り立ちに原因があるのかもわからないが、とにかく神戸には神戸にしか生れ得ない文化の息吹きがある。まったく言葉では説明出来ない、肌で感じるとてもいうのか、独特の雰囲気神戸にはあるのである。

だからこのポートピア'81も、その神戸独特の文化の香りを土台にして、作り上げられるのならば、それで充分だと考える。細かい注文や希望などは押しつけたくはない。排他的と誤解されるかも知れないが、神戸の持つ風土を大切に、神戸の持つ文化の香りを理解することの出来る人々によって、このポートピア'81は作り上げて欲しい。

そうでなければ、日本全国、どこでやっても同じような博覧会になってしまいうことを怖れるからである。それでは何も神戸でやる必要も、存在価値もないと思うからである。

とにかく、神戸を愛し、神戸の雰囲気を理解出来る人々によって運営されるならば、神戸にしか生まれ得ない、独特の博覧会が生まれると信じるからである。



まずシンボルを



岡田 美代

＜神戸文化ホール勤務＞

私が生きてきたほんの数十年の間にも、神戸は大きく変貌しつつ発展しています。山を海に移すという思い切った着想を実現化して、地図になかった新しい島がこの神戸の港に生まれるなど、戦火に焼けて瓦礫化した街を歩いていた私の、想像も及ばない「世紀の出来事」でした。それにしても、思えば歳月と資材を投じた大事業であったと思います。そしてまた、今眼前に拡がるこの巨大な機能をもつ島を、21世紀いともつと遠い未来への財産として、どのように残し、活かしていくかを考えると、さまざまに大きな夢が生まれてきます。

「ポートピア'81」。これこそ、未来への橋渡しの出発点。一大シンフォニーのプレリユードということでしょう。私はこの「ポートピア'81」を、できるだけ力強く美しく高らかに響くハーモニーで飾りたいと思います。

▽それには、まずシンボルを……

バリーにエッフェル塔が残されたように、ポートアイランドにも永久に残るモニュメントがほしい。モニュメントは建造物や彫刻でなくてもいいのです。淡路の水仙郷や六甲のあじさいのように、季節のくるたびに群れて咲く花の群落でもいい、緑の森でもいいのです。

ポートアイランドの新しい土の上に、しっかり根をおろしたモニュメントが欲しいと思います。

シンボルは、そうした形あるもののほかに、精神性の高いシンボルも考えてはいかがでしょう。この島を鎮めるとともに、この島に住み、この島を訪れる多くの人々の心のよりどころとなるような……。海の神・港の神を祀る神社を建てて、その境内では、春夏秋冬の祭に賑やかな市がたち、小屋掛芝居なども催される。勿論、ポートピア'81の幕開きは、この社の神に、平和と発展を祈ることからはじめるのです。ここで忘れてはならぬことが一つあります。ポートアイランドの建設は、清盛の経ヶ島築造に次ぐ世紀の大工事であったことは先に述べましたが、この大工事の発案者であり、創始者である故原口忠次郎氏の顕彰を、ぜひプログラミングしていただきたいのです。原口さんこそ、ポートアイランドを残していかれた偉大な神戸の先駆者でありました。

▽つづいて色々なアイデアを……。

期間中、時鐘のかわりに正午・深夜十二時などに、汽笛を鳴らす。（汽笛のハーモニー）。新交通ポートアイランド線の客車ボディに思いきったデザインをして、通過する姿を見るだけでも楽しく明るくなるようにする。（例えば宇宙戦艦ヤマトの向うを張るような）

世界の船の船長を、世界のヨットの艇長を、世界の港のクイーン達を招いて、世界の海や港の歌を大合唱し、行進する。ETC……。ともかく世紀の打上げ花火をあげる盛大な祭りにしてほしいと思います。

ムダな場も文化



小林陸一郎

〈彫刻家〉

私にとって、ほんのちっちゃな夢、ちょっとした人情、街角でゆきずりの人のきまぐれの親切、こんなことが現代人にとって生きてゆく手がかりになっているのでは、時にはふと、そんな風に考えてしまう。もともと人々にはバイタリティーにあふれ、生きる喜びにあふれ、人生を謳歌しているのだ、夢をふくらませて未来へ立ち向っているのだ……と考えてみても、孤独な人の心を街角がとらえてくれるだろうか。人の孤独さえもコンピュータに入れて解明されそうな気がする。

荒々しく、無秩序で、そして、静けさがある、そんな場所と時間が、うばわれて行くような気がする。

人々の歴史は壮大なムダを浪費して来た。それは文化と呼ばれた。今は、全てムダなく整理され、システム化されたなかに、文化も組入れられようとしている。街は整備され、住み良くなり、また、おまつりはあくまでおまつりらしくなり、祭りではなくなる。

みんな良かれと考えて、がんばって、疲れはててしまう。しかし「あなたの方考えたことは良かったですよ」なんて、小さな言葉が、また勇気を与え、ひとつの力となって、システムは進んで行く。いったい個人は、どこへ行けばいいのでしょうか。

神戸には海がある。

海に向った人は、無力になり、孤独になり、勇気づけられ、馬鹿馬鹿しくなり……。

今、神戸は膨大な費用を浪費して島を作っている。現代のムダである、それはまた文化である。せっかく作った文化を、整備された有益なるものだけにしないで欲しい。ポートアイランドにのぞむ私のささやかなのぞみは、海に向かう数百メートル、ささやかながらそのぐらいいは草ぼうぼうの道も作らず、建物も建てず、なにも作らない、なにかをしないゾーンを欲しい。海に向かって石ころだらけの、草だらけの、木もない、うめたてのままの数百メートルは、自然の荒々しさを、野性を、そして人の孤独を、心になにかを呼び戻すゾーンにならないだろうか。

有益であることを為すことによって失われるもの、整備され便利になることによって失われるもの、整備されるものから生まれるものと、整備されないものから養われるものと、色々考えつつ……。

山と坂道と海と、全てムダなくそろった神戸、そんななかに、なにもない平地、たんなる平地が少しはあってもいいではないか。

これからの人間がイメージを育てるスペース、つまりは全くムダな場を、お金をかけて作る、それも文化ではないだろうか。

あえてポートピア'81に提案したい。



安藤 忠雄

〈建築家〉

活性化する方向に

神戸の街は、さまざまなアメニティをもつ街である。山と海の接近、異国情緒等、街は開放性にあふれ、徒歩圏内の都市展開は、日本では珍らしい、都市生活の実感をうみ、ヒューマンスケールの街を構成する。

博覧会という言葉には、大時代的な楽しさがある。それは子供の頃の記憶につながり、時代のエポックメイキングなできごとである。ある短い期間に毎日生み出されるさまざまな事件によって彩られた時と場所は、記憶の中に漂い続ける。一九世紀後半は、ヨーロッパの博覧会の時代であったといえる。時代精神と、工業技術の発見の場として、夢の現実化を目指し続けた。

一八八九年のパリ博は、今、公園とエッフェル塔に、その残像を見ることができ。エッフェル塔は、当時の時代の最先端をゆく鉄骨技術をもって登場し、その偉容は、古都パリにとって、革新的なできごとであった。この年パリでは、もう一つのできごとがあった。それは、セーヌ河畔のサンジェルマン地区の開発である。パリ博と地理的に直接的なつながりは無いがこの開発は、新たに街を特徴づけ、蘇生した。街は固有名詞をもって語られる。この言葉の背景に、現実の都市があり、街を構成するイメージがある。エッフェル塔を出発点として、シャンゼリゼや、サンミッシェル、サンジェルマン等、都市の骨格を内包する拠点の集積の中に、ファッション都市パリのイメージは、連想的に編まれていき、確立していく。エッフェル塔が、パリのシンボルであるのに対し、サンジェルマンの開発は、現実の都市の新たな点の創出であった。こうしたパリにおける、ファッション産業への従事者の数もさることながら、パリに住む人々のファッションへの意志の強さや意識の高さを思う時、今回の「海の文化都市、ポートピア'81」が、単なるシンボルに終ることなく、神戸が従来よりそのキヤッチフレーズにして来た「ファッション都市」がより深く、神戸に根ざすべく、ファッションの全てを喚起するものでありたいと願う。ファッションを支える商工業のより一層の発展と共に、ファッションをうみ出す人々の教育、養成、それを着る人々の意識を高めるといった、トータルな意味でのファッション都市の育成を望む。例えば、トアロードをファッションストリートに準えてみれば、ファッションを支えるアトリエ、その関係者の住居や学校など、ファッション都市のイメージをより強烈にする関連諸機能を集みさせ、都市をより活性化する方向にもっていく等、次々に新たな展開を期待する。

神戸の街は、今回の博覧会を契機に、街の変容を始めていくであろう。今までの神戸のイメージを基本としつつも、もう一度、海との新たな関係性をうみ出していく。博覧会は、ともすれば一場の夢として終りがちである。しかし、パリ博が、街に新しい拠点を作っていったように、博覧会のみを自己目的化せず、「ポートピア'81」を契機に、よりマクロな視点に立ち、街の質的な変容、関わる人々の意識の変革へとつながっていくべきであろう。

●花と海と太陽の祭典 第9回神戸まつり対談 神戸まつりがやって来た

大熊律夫

△神戸まつり実行委員会副委員長▽

V S 佐野漣箕

△神戸新聞文化事業局長▽

★ますます盛ん！ 各区のまつり



大熊 律夫さん



佐野 漣箕さん



中央パレードには各国の美女も登場します

定着して来た「市民のまつり」

大熊 当所、神戸まつりは観光としての見せるまつりなのか、市民が参加するまつりなのか、が一つの議論の焦点だったわけですが、これは市民自身のまつりで、見てもらうまつりじゃない、参加することと喜びを味わうまつりとして育てたい、ということから出発しました。

それをどのように育てて行くかが過去の課題であって、昨年の第八回を見ていますと、各区のまつりにくい分たくさんの方が参加して非常に賑って来たし、また、定着して来た。それは明らかに市民参加のまつりに定着しかけたというところまで来たのだと思う。

参加するまつりと同時に一方で、一つのセレモニー的に全国に神戸のまつりとはこういうものだ



神戸まつりの楽しみのひとつは、日本はもとより世界各国の美女のあでやかなパレードが見られることです（写真はいずれも昨年のパレードより）

と見せることも必要だ。それが中央祭典であり、中央パレードという形で育っていると思います。

この二つが合わさった形で進んでいるというまつりは全国的にも珍しいのじゃないか、と思う。

佐野 その通りですね。市民参加ということでは、過去八回を見て来まして、いい方向に來たなあという感じがする。それと、市民の手づくりで今日まで來た、ということは他所のまつりにはない。これも神戸まつりの大きな特色で、今後もつづけて行くべきでしょう。他の地域では大体演出に専門家を入れている。いろいろ知恵を働かせながらやって行くということでは神戸市民は仲々いいセンスをもっています。

実は昨年の実行委員会では、見せるまつりの方へ軌道修正したらどうかという意見が出來た。というのは「ポートピア'81」があるのだから、いい意味の観光的な広がりが必要という意見があった。それと市民参加をうまくミックスしたまつりが今年の行き方で、それが「ポートピア'81」へ向って燃え上って行くということでしょう。

それと、参加している人が子供からお年寄りまで全市民の各層だ。これも神戸まつりの特色ですね。

大熊 まつりの学問的な専門家（学者）のなかに、まつりとは郷

愁を伴うもの、幾ばくかの哀愁感のあるもの、これが鎮守のまつり式の日本古来の本当のまつりなんだ、これを捨ててしまったバカさわざだけではないまつりではないということという人がいる。私もそうだと思うが、これは、各区でやっているまつりに出て來たんですよ。子供が大人になってからも思い出せるいいものを残したい。

中央では、時にはバカさわざに見えるかも知れないが、神戸独特の国際色豊かな、国籍や老若男女を問わずみんなが参加をしてワーツと盛り上って行く。

佐野 神戸まつりに村まつり的な郷愁や哀愁を求めようとするのは無理だと思う。新しいまつりの行き方は、市民参加、手づくりで工夫しながらやって行ってコミュニケーションのまつりにするという新しい形。一方、平野の祇園祭ありという伝統的なものが残っている。各区のまつりを含めて神戸まつりは、新しい今世紀のまつりのあり方を一つのサンプルとして打ち出したと思う。そして、どこまで行っても完成しない、絶えず変えて行かないといけない。

大熊 仙台の七夕まつりなど、ある程度パターンが決まってしまっただけ、それなりの意味があるけれど、神戸まつりは決まってしまったパターンを繰り返して行く

のではなく毎年変化が欲しいね。

今年は子供の参加を増やしたい

大熊「ポートピア'81」は各界あげての一大行事でやるわけですから神戸まつりとしても全面的に協力するという立場で、今年、来年とまつりのなかにとり入れて行く。

佐野 昭和五十六年にはポートアイランドで神戸まつりをぜひやりたい。神戸まつりも「ポートピア'81」へ向って行くということですね。これが終わったら、あくる年からどういうまつりになって行くか一つの転換期になると思う。

各区のまつりもだんだんと定着して来て今年は長田区では前々夜祭をやるそう。ただ、各区とも同じようなスタイルですね。各区の特色が出て来るともっと面白くなるのですが、そこらへんが、こ

れからの課題ですね。

大熊 具体的に市民が関心をもっているのだなあと感じるのはクインシー神戸が各区を訪問するときにそれを見ている人の感じが、以前は、ああ、キレイなおネエちゃんが出来ているなあと見ている感じだったのが、おとしぐらいから、ちよつと手を叩こうかという感じになって来た。昨年は、もう、熱狂的に迎えるようになった。というの、昔のミス神戸のように、美人が選ばれたというのじゃなくて、自分たちのアイドルだということにだんだんとなって来たという感じがしますね。

佐野 パレードだけでも七十万人が見に来るといように、神戸市民の生活のなかで神戸まつりの占める位置が大きくなって来ている年間の神戸市民の生活のリズムの

なかに神戸まつりが入って来ているということですね。

今年の特色は、従来やって来たものの積み重ねの上にさらに国際児童年ですから子供の参加を呼び掛けましようということですね。

パレードの幕開きはいつも民謡をやるわけですが、真中に子供を入れて両側に婦人会が並んで、そこから始める。そういう演出も考えているようです。

大熊 中央パレードを見るときにお薦めしたいのは、フラワロードが一番の中心のように思われるが、実際は大丸付近から京町筋へとつづいていきますから、そういうところでも見ていただきたい。

佐野 今年は特別のゲストは呼ばないですが、「ポートピア'81」に向って来年は何か入れ、本番のときにはもっといろんなものを入れましようということに恐らくなると思います。

神戸まつりは、新しいまつりの一つのスタイルとして他の地域でも真似されている。その一番の原点であるという自負で、さらに工夫をこらしてやって行って欲しいですね。

大熊 誇りをもって神戸のまつりを見に来て下さいといえるものにして行かないといけないですね。

(ブランドウブランにて)



今年はチビッ子の参加が増えそうです



第9回神戸まつり 各区行事 ガイド



東灘区行事

東灘なんでもまつり

5月19日(土) 13:00~20:00

灘神戸生協甲南グラウンド(雨天中止)

一部 みんなの広場 オープニングセレモニー、子供みこし、クイン神戶、プリンセス神戶、ウルトラマン、大杉久美子ら来場。

二部 なんでも広場 カラオケ大会、大喜利日本民謡、酒造り唄など。

各種コーナー 祝い酒、ふるさと電話、観光郵便、夜店、消防、植木市、交通安全、フット、その他各種模擬店あり。

東灘区協賛行事

詩吟大会(5/3 住吉公民館、短歌大会 5/12 東灘文化センター、民謡大会 5/13 御影公会堂、家族ハイキング(5/13 区役所と五助ダムと石切道と白鶴美術館、六甲山集中登山(5/13 六甲山本庄植附近)、洒落こうべ座(5/15 東灘文化センター)、学童図画書道大会(5/14 19区役所2階ロビー他、協賛大売り出し(5/17 18区内小売市場)、東灘体育館無料開放(5/20 東灘体育館)、甲南地区行事(5/20 甲南本通アーケード)、笑民寄席開演3周年記念公演(5/25 東灘文化センター)、母親コーラスの集い(5/26 東灘文化センター)、人形劇(5/27 東灘文化センター)、開募大会(6/3 御影公会堂)

灘区行事

六甲ファミリースタジアム前夜祭

5月18日(金) 17:00~20:30

王子競技場前広場(雨天中止)

六甲サウンドフェア、フットダンスの夕べ、出店コーナーなど。キャンパファイヤー(19:00~20:30 西灘公園)

六甲ファミリースタジアム

5月19日(土) 12:00~20:30

王子競技場前広場(雨天中止、パレードのみ20日(日)に順延)

パレードの部(9:30~15:30) 飾り車パレード、子供パレード、ファミリーパレード、広場の部 開募太鼓、飾り車パレード入場、子供パレード入場、鏡開き、演奏大会、ファミリーパレード入場、ピササンバ、クイン神戶あひさつ、民謡の夕べ。

神戶あひさつ、民謡の夕べ。

バナーのたききり、手作り作品即売、似顔

絵、写真相談、関西リサイクル市民の会。

灘区協賛行事

キャラバン隊(5月)、家庭バレーボール大会、5/8・15 王子スポーツセンター、チャリティボウリング大会(6/10 グランド六甲ボウリングセンター)、開募大会(6/10 灘公会堂、卓球リーグ大会(6/17 王子スポーツセンター)、写真コンクール。

灘合区行事

みいんな集まれふきあいカーニバル前夜祭

5月18日(金) 19:00~21:00 阪急春日野

道駅南側道路(雨天中止)

サンバ、フットダンス、出店。

みいんな集まれふきあいカーニバル

5月19日(土) 13:00~21:00

阪急春日野道駅南側道路(雨天中止)

演奏大会、クイン神戶、プリンセス神戶訪問、似顔絵コーナー、こどもの広場、開募、将棋大会、絵本大会、出店、ふるさと電話。

パレード(12:20~16:40) 飾り自動車

こどもみこし、鼓笛隊、仮装行列、民謡流し

灘合区協賛行事

児童オセロ大会(5/12 旗塚児童館、児童

リンボードダンス大会(5/16 旗塚児童館、

児童輪投げ大会(5/26 旗塚児童館、登山

大会、卓球大会(吾妻小体育館、こども会

ソフトボール大会、町内対抗運動会(南本町

遊戯道路、地域親子運動会(吾妻小校庭、

写真コンクール(灘合区役所)。

生田区行事

異人館パロックコンサート(前夜祭)

5月18日(金) 17:00~19:00 ラインの館

出演/テレマンブテイアンサンパル

祈願祭

5月19日(土) 生田神社

子どもための祈願祭(10:00~10:30)

生田繁栄・交通安全祈願祭(11:00~11:30)

フレッシュ生田カーニバル

5月19日(土) 13:00~17:30

湊川神社(雨天中止)

子どもみこしパレード(10:45~12:30)

生田神社とセンター街と元町本通りと湊川神社

いくたパレード(11:40~13:00)

生田神社とセンター街と元町本通りと湊川神社

いくたのまつり

湊川神社内特設舞台

神戶太鼓、子どものパトロン演技、子どものカ

ラオケ大会、フットソング、腹話術、クイ

ーン神戶訪問、えびす太鼓、阪急少年音楽隊

おまつりひろば

模擬店、チャリティー似顔絵コーナー、らく

がき、おりがみコーナー。

■生田区協賛行事

老人クラブ盆裁展(5月中旬) 区役所区民ロビー、老人クラブ輪投げ大会(生田公会堂)
第5回生田区子ども柔剣道大会(5/5中央体育館、第5回区民明善大会(5/13総合福祉センター内部老人福祉センター、小学校児童によるまつりポスター展(区役所区民ロビー、写真コンクール。

■兵庫区行事

はっぴいひろば

5月19日(土) 10:30/21:00
湊川公園(雨天中止)
兵庫区民繁栄・安全祈願祭 10:30/11:30
ドレミのついで(13:00/14:00)
たそがれミュージック(16:00/18:00) 歌謡ショー、フォークソング、サンバ。
なんどいやの夕べ(18:00/21:00) 日本太鼓、郷土芸能、津軽三味線、総踊り。
各種コーナーのみの市、植木・草花市、バザール、なんでもコーナー、幼児コーナー、夜店。
その他 バレード、横町寄席、写真コンクール(6月中旬)。

■兵庫区協賛行事

日本民謡のついで、民謡まつり、メトロママさん卓球大会。

■北区行事

きたきたまつり

5月19日(土) 11:30/19:20

鈴蘭公園(雨天中止)

バレード(11:30/13:00) 区役所前/鈴蘭台駅前/鈴蘭公園

消防広報車、サイドカー、テーママーチ、先導車、パトントウラー、ブラスバンド、御殿

かご、仮装行列、子どもこし、少年野球、

中学野球、少年剣道、少年空手、民謡流し。

オープニングセレモニー(13:00/13:30)

鏡割り、くす玉割り、爆竹鳴らし、有馬太鼓

よい子の広場(13:30/15:00) お兄さんと

いっしょに遊ぼう、子ども民謡、子どもパト

ントウリング、ぬいぐるみショー、科学忍者

隊、ガッチャマン、落書大会。

みんなの広場(15:00/17:10) 漫才、民謡

まつり、クイーン神戸訪問、民謡、民謡、プ

リンセス神戸訪問、傘おどり、歌謡曲、走れ

ピンクレディー。

出店 うどん、ジュース、食べもの、アイス

クリーム、綿菓子、金魚すくいなど。

■北区協賛行事

ヤングハイキング(4/22 柏尾谷、道場町
民運動会(4/19 道場小学校、中学生野球
大会(5/3・6・13 鈴蘭公園、なんでも
市(5/19 鈴蘭公園、文化作品展(5/19・
20 北区民センター)、祝賀奉仕販売(5/19・
20 区内各店舗)、植木市(5/19/20 緑の相
談所)、切花・野花苗即売市(5/19 鈴蘭公
園)、マダムバレエボール大会(5/22・
24 北区民センター)、演芸大会(5/26 北公
会堂)。

■長田区行事

ヤングコンサート(長田フェスティバル前々
夜祭) 5月17日(木) 17:00/20:00
若松児童公園(雨天中止)
ファミリーステージ(長田フェスティバル前
夜祭) 5月18日(金) 17:00/20:00
若松児童公園(雨天中止)
長田フェスティバル
5月19日(土) 12:30/20:00
若松公園(雨天中止)

長田区安楽長寿祈願、長田の宮神無祭(10:
30/11:55 長田神社)
祈願文奏上、神無太鼓、民謡、郷土芸能。
中央行事(12:30/1:00) レコード・ふれ
太鼓、オープニングショー、幼児のついで、
クイーン神戸訪問、郷土芸能、音楽演奏とパ
トントウラー、民謡と津軽三味線、民謡総お
どり、神無太鼓。

みんなの広場 夜店、植木市、仏壇松コーナ
ー、バザール。
みんなのついで(17:00/20:00) 民謡、リ
ズム・ファクター。

■長田区協賛行事

映画会(5/5 丸山コミュニティセンター
西神戸YMC、子供バレエボール大会 4
/29 村野工業高校、家庭バレエボール大会
(5/11 中央体育館、勤労者ソフトボール
大会(5/27・ママさん卓球大会(5/29 新
中央体育館、老人スポーツ大会(5/24 新
長田勤労市民センター)
天狗まつり 開耕大会(5/13 新長田勤労市
民センター)、魚釣大会(5/13 須磨海岸一
帯、競輪大会(5/13 高取山)。

■須磨区行事

須磨音楽の森
5月19日(土) 14:00/20:00
須磨離宮公園(雨天20日に延期)

こどもこしバレード(13:30/14:45) 下
中島公園/須磨寺商店街/須磨離宮公園。み
こし約50台参加。

■垂水区行事

のびゆく垂水の祭典

5月19日(土) 10:30/17:00
垂水海浜センター(雨天屋外中止)
バレード(10:30/11:30) 垂水駅前周
駐車場舞台(12:00/17:00)
チビッ子ショー、奇術、機軸、のど自慢、子
供演奏、クイーン神戸訪問、総踊り。
チビッ子広場(11:00/16:00) 金魚すくい
ヨーヨー釣り、仏顔絵、植木即売コーナー、
模擬店。
民謡のついで(11:00/16:00) 公会堂
地区行事 明舞まつり(5/5 噴水広場、
多開台まつり(5/6 団地一帯、神徳カ
ーニバル(5/5 神徳小学校、新多開ま
つり(5/6 中央センター一帯)。

■垂水区協賛行事

演芸大会(5/20 垂水小学校、音楽広場 5
/19 垂水小学校、舞子芸能まつり(5/6
/5 舞子小学校、少年野球大会(5/6/13:20、
矢元台公園・西舞子小学校、魚釣大会(5/
27 舞子海岸、ハイキングのついで(5/27
垂水縦走青山コース 26日)、デスポート大
(5/13 神戸高専グラウンド、老人作品展(5/
19・20 垂水年金会館1階ロビー)、垂水ッ
子まつり(5/20 垂水小学校)

■西神地区行事

西神太陽と緑の祭典

5月19日(土) 10:40/15:30

西神文化センター(雨天屋外中止)

屋外ステージ・広場 婦人のおどり、クイ

ーン神戸訪問、ブラスバンド、のど自慢、子供

みこし、若人の軽音楽、民謡とおどり、奇術

婦人のおどり、プリンス神戸訪問、子供の

おどり、婦人総おどり。

屋内催物(一般の部) 写真、魚拓、書道、絵

画、盆栽、草花、活け花、手芸、献茶サービ

ス。(小・中・高生徒の部) 美術、習字。

屋外催物 植木・花、とうろう、海産物・野

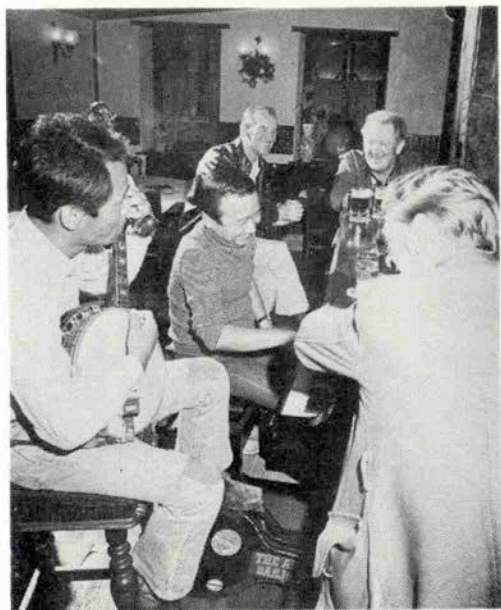
菜の即売、焚火、屋台、バザー。

■西神地区協賛行事

家庭バレエボール大会(5/6 垂水体育館)
中学校体育大会(野球・バレエボール・ソフ
トボール・テニス・卓球)、花バスの訪問と
記念撮影会。

“Dixieland is just like
my home town”

神戸に立寄ったエトランゼが
ホームタウンを感じる店



ミュージックタイム P.M. 9:00~12:00
ピアノ/中川宗和 バンジョー/川島俊介
サービスディナー¥ 1,700 P.M. 5:00~8:00
営業時間 P.M. 5:00~12:00

Dixieland

RESTAURANT

〒 651 神戸市 葺合区磯辺通4丁目7
フラワーロードニューポートホテル北隣
Tel. 078 (251) 7 2 7 7

MAKE UP WITH ROYAL

楽しいまなざし……

軽〜いめがね



プラスチックレンズ+フレーム

軽〜いめがねをかけたら世界が変わった!

おしゃれのポイントはめがねですよ。プラスチック
レンズはあなたのお好きな色に染色ができます。
染色後、色を濃く、薄くすることもできます。

 **神戸眼鏡院**

元町店・元町3丁目 ☎(321) 1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391) 1874~5

元町店は毎水曜日が休みです

三宮店は第2、3水曜日が休みです